

## 2024(令和6)年度 事業計画書

自 2024 (令和6) 年 4月 1日

至 2025 (令和7) 年 3月 31日

公益社団法人ビタミン・バイオフィクター協会

公益目的事業 1. ビタミン・バイオフィクター及びこれらに関連する研究を行っている機関に対して研究費等の助成を行う事業

助成事業

・2024(令和6)年度研究助成事業

2024(令和6)年度の研究助成先並びに助成金額は、審査委員会の書類選考によって選出した後、理事会に於いて承認された。

・2024(令和6)年度 研究助成先及び研究テーマ一覧表

(1) ビタミンB研究委員会

〈研究テーマ〉

- ・ビオプテリンのバイオフィクターとしての生理機能の解明と創薬への応用
- ・ビタミン依存性酵素の構造機能解明と有用化合物の効率的合成への応用
- ・ビタミン・バイオフィクターの微生物における代謝・生合成と生理機能
- ・タンパク質構造解析を基盤とするビタミン・バイオフィクター含有酵素の機能発現メカニズムの解明と高機能化
- ・B群ビタミン栄養状態が生活習慣病の発症および進展におよぼす影響

(2) ビタミンC研究委員会

〈研究テーマ〉

- ・ビタミンCの新たな生理機能の解明と臨床応用に関する基盤研究
- ・アスコルビン酸の代謝とアスコルビン酸誘導体の生物機能に関する研究

(3) 脂溶性ビタミン総合研究委員会

〈研究テーマ〉

- ・ビタミンD栄養改善を目指した新規食材の探索とビタミンD栄養簡易評価票の活用
- ・脳のビタミンE代謝におけるPLTPの重要性と脳機能への影響
- ・脂溶性バイオフィクターとしての*N*-アシルエタノールアミンの生理機能解析

(4) 滋賀医科大学

〈研究テーマ〉

- ・妊娠中の母体血および臍帯血中の未代謝葉酸濃度と児のアレルギー疾患発症との関連

(5) 順天堂大学

〈研究テーマ〉

- ・ビタミンCによる酸化ストレス制御が肉離れの発症頻度と治癒促進に及ぼす影響の解析

- ・2025(令和7)年度の募集要項は、2024(令和6)年12月、ホームページを通じて公開される予定である。

応募期間 : 2025(令和7)年1月10日 ~ 2月10日

書類選考 : 審査委員会にて行う

選考結果 : 2025(令和7)年度の理事会にて決定、応募者に通知する

審査方式は、合議審査を行わず、2段階での書面審査を実施し、採否を決定する「2段階書面審査」を実施し、理事が第1段階目の審査委員となる。

## 公益目的事業 2. ビタミン及びバイオフィクター等に関する知識を普及する事業

### 広報・活動事業

#### (1) ビタミン・バイオフィクター関係新情報の提供

当協会やビタミン・バイオフィクター関連団体の市民公開講演会、諸講座、シンポジウム等の開催日程や内容などに関する新情報をホームページに掲載する。これらにより広くビタミン・バイオフィクターに関する情報の提供、知識の普及を図る。また当協会の会員数の増強を図るためにも、ホームページを通じて事業、企業会員情報、ビタミン・バイオフィクター関連の特許情報を掲載する。

#### (2) 一般市民を対象にした公開講演事業

##### ア. 市民公開講演会開催

2024(令和6)年度 ビタミン・バイオフィクター協会 市民公開講演会(主催)

開催日 : 2024(令和6)年12月14日(土)若しくは21日(土)〔予定〕

会場 : 京都商工会議所(京都市下京区四条通室町東入)

又は、京都テルサ(京都市南区東九条下殿田町70)〔予定〕

世話人 : 石神 昭人(協会参与・東京都健康長寿医療センター研究所副所長)

重岡 成(協会業務執行理事、近畿大学特任教授・附属農場長)

テーマ : 『ザ・老化!』

##### 講演者予定(仮題)

#### 1. 「(抗)老化とは—100歳でも元気で暮らすために—」

阿部 皓一(武蔵野大学薬学部SSCI研究所分析センター長)

#### 2. 「おいしく食べてフレイル予防!」

本川 佳子(東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム研究員)

#### 3. 「老いは脚から、だったら今から脚を鍛えて健康寿命を延伸してみましよう!」

町田 修一(順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科教授)

#### 4. 「ビタミンCとビタミンEで健康寿命を延ばそう!」

佐藤 綾美(東洋大学健康スポーツ科学部栄養科学科准教授)

5. 「老化と対話する医療から新しい健康概念へ」

近藤 祥司（京都大学医学研究科准教授）

※ 今後、決定次第ご報告いたします。

イ. 市民公開講座開催

2024（令和6）年度 日本ビタミン学会 市民公開講座 開催（共催）

開催日：2024（令和6）年11月9日（土）

会場：大阪公立大学 学術交流会館（大阪府堺市中区学園町 1-1）

実行委員長：山地 亮一（大阪公立大学教授）

テーマ：「健康を意識して知っておくべきお得なビタミン情報」

講演予定

「健康の味方 ビタミンDを知って元気になる」

栞原 晶子（大阪公立大学教授）

「不足を避けるための水溶性ビタミン摂取量」

福渡 努（滋賀県立大学教授）

「健康維持のためのビタミンCの多彩な役割」

堀尾 文彦（名古屋女子大学教授）

(3) 事業委託

ア. ビタミンB研究委員会（任意団体）

研究者間の交流及び最新の研究内容などの公開を図るため、ビタミンB研究委員会に下記のような研究協議会とシンポジウムの開催を委託する。

また、その内容に関してホームページなどを通じて一般に周知する。

研究協議会

第475回	6月7日	福井・AOSSA
第476回	9月3日	沖縄・ホテルグランビューガーデン沖縄
第477回	11月15日	京都・京都大学 楽友会館
第478回	2月28日	大津・ピアザ淡海
シンポジウム	2月27日	大津・ピアザ淡海

イ. 日本ビタミン学会（公益社団法人）

年次大会や学会誌「ビタミン」を通してビタミン・バイオフィクターの研究成果の発表、情報交換を図る。

日本ビタミン学会第76回大会（2024年度）

大会委員長：内藤 裕二（京都府立医科大学 学生体免疫栄養学講座 教授）

実行委員長：高木 智久（京都府立医科大学 消化器内科 准教授）

会期：2024年6月8日（土）～9日（日）

会場：AOSSA（JR福井駅前）

テーマ：『なんでものみ込むビタミン・バイオフィクター学』  
一般演題数： 86 題 (内学生発表数 52 題)

《共催シンポジウム》

「機能性食品研究とビタミン・バイオフィクター学の接点」  
「酸化ストレス研究とビタミン・バイオフィクター学の接点」  
「抗加齢医学研究とビタミン・バイオフィクター学の接点」

～ビタミン D 研究の臨床的知見から～

《若手シンポジウム》

12 演題

《特別講演》

「戦国城下町一乗谷と医学 ～発掘された医師の実像～」

福井県立一乗谷朝倉氏遺跡博物館 副館長 川越 光洋

《市民公開講座》

「福井から発信する Well-being 宣言！」

(学会賞等受賞講演・ヒューマンニュートリションセッション・研究自由集会)

(4) 情報広報

マスコミからのビタミン・バイオフィクターに関する企画、問い合わせなどに正確に対応する。また、一般からのビタミン、バイオフィクター、サプリメントなどに関する質問に対しても迅速に回答する。